

海外経済

		5月	6月
世界経済		<p>世界の景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融緩和縮小による影響、中国やその他新興国経済の先行き等について不確実性がみられる。また、地政学的リスクに留意する必要がある。</p>	<p>世界の景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融緩和縮小による影響、中国やその他新興国経済の先行き、地政学的リスク等について留意する必要がある。</p>
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、金融緩和の縮小による影響等に留意する必要がある。</p>	<p>アメリカでは、景気は回復している。</p> <p>先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、金融緩和の縮小による影響等に留意する必要がある。</p>
アジア地域	中国	<p>中国では、景気の拡大テンポは緩やかになっている。</p> <p>先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと期待される。ただし、輸出や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</p>	<p>中国では、景気の拡大テンポは緩やかになっている。</p> <p>先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと期待される。ただし、不動産価格や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</p>
	韓国、台湾	<p>韓国、台湾では、景気は持ち直している。先行きについては、持ち直し傾向が続くと見込まれる。また、輸出の動向に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
	インド	<p>インドでは、景気は底ばい状態となっている。先行きについては、当面、低めの成長にとどまることが見込まれる。また、物価の動向を含め、通貨安の影響等に留意する必要がある。</p>	<p>インドでは、景気は底ばい状態となっている。先行きについては、当面、低めの成長にとどまることが見込まれる。また、物価動向等に留意する必要がある。</p>
ヨーロッパ地域		<p>ヨーロッパ地域では、景気は、全体としては持ち直している。</p> <p>ドイツでは、緩やかに回復している。英国では、回復している。</p> <p>先行きについては、持ち直し基調が確かなものとなることが期待される。ただし、政府債務問題等への対応やその影響、失業率や物価の動向等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)